

1. どうしたら関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制を構築できるか

各学校単独での地域移行体制の構築はなかなか難しいので、行政が中心となって推進していく必要がある。多久市教育委員会では、以前から部活動改革へ向けて、「生徒のスポーツ環境整備改善計画」を策定し、改革をすすめていたことで、地域移行の体制を整えることができたと考える。多久市では、部員数の減少から、チームスポーツでは、1校単独で試合に出場できない場合がある。合同チームでの試合だけでなく、改革の一環として休日の合同練習を行っていたことで、地域での部活動への抵抗が小さかった。また、総合型地域スポーツクラブ「多久スポーツピア」で陸上やバドミントンを行っていた生徒がいることで、部活動の地域移行に適した環境が整っていた。この「多久スポーツピア」と連携することで地域移行をスムーズに推進できている。

2. どのような支援が拠点校の取組や関係団体の協働を効果的に促進することができるか

拠点校では、合同練習計画の作成、合同練習に伴う連絡調整、スクールバスによる生徒送迎計画、指導者の派遣などを行っている。多久市教育委員会としては、合同練習の環境を整えるため、市の運動施設の借用、教員の兼職兼業許可申請、指導者謝金の支払い等の業務を行い、拠点校と協働して地域移行を進めている。また、多久市体育協会やスポーツ推進委員と部活動の地域移行の取組を共有し、指導者を推薦してもらい、地域の指導者の確保を進めている。休日の部活動を地域移行するためには、複数の指導者による指導体制を構築することが必要である。多くの地域指導者を確保するためにも、体協やスポーツ推進委員との連携は必要不可欠である。今後も、協働して地域移行を推進していきたい。

3. どのようにして、それぞれの課題を克服していくのか

「多久スポーツピア」に地域連携サークルを設置し、休日の部活動の受け皿として地域移行を進めているが、そのためにはスポーツピアに入会が必要であり、会費は保護者負担となる。休日の部活動の地域移行を保護者に理解してもらうために、拠点校ごとに保護者会を開催した。「多久市の生徒のスポーツ環境整備改善計画」に基づき地域移行を進めていること、令和4年度以降の取組、「多久スポーツピア」との連携等について説明し、保護者の理解と協力を得ることができている。部活動に取り組む生徒全員が「多久スポーツピア」に入会し、休日は地域連携サークルの活動として部活動を行う体制が整ってきた。保護者には、重ねて令和4年度からの取組について説明文書を配布するようしており、継続した働きかけが必要と考える。

4. どうすれば改革の取組を円滑に他地域に普及していけるか

休日の部活動の地域移行を円滑に推進するには、教員の理解と協力が不可欠である。多久市教育委員会は、社会体育として部活動を行うことに伴う意識改革、兼職兼業の申請、働き方改革などの説明を、教員を対象として学校ごとに数回行った。また、「多久スポーツピア」と市内3校との連絡調整を行い、地域部活動への一部移行を進めた。令和3年度の取組の報告、令和4年度の取組について市内校長会で共有し、文書で学校へ周知することなど、今後も継続的に連絡調整を行っていく。

5. 実践研究における活動実績や得られるデータ

地域指導者として希望し兼職兼業申請をした教員が部活動を指導することで、教員の勤務時間の削減や負担感の軽減など働き方改革につなげることができている。「多久スポーツピア」での実践研究を行ったことで、指導者の謝金、保護者の負担費用、複数指導体制の確立などの課題が見えてきた。令和4年度はこれらの課題解決に取り組み、令和5年度からの休日の部活動の段階的・地域移行に対応していきたいと考える。令和4年度には、生徒、保護者、指導者へのアンケートを実施し、その結果を踏まえながら改革を進めていく。あわせて、多久市のホームページに地域部活動の状況を掲載し、保護者や地域住民への情報発信を行っていく。

6. その他

部活動を地域移行することにより、教員以外の地域住民が指導者として生徒に関わることになり、子どもたちを地域で育てていく機運が高まり、多くの人が部活動に関わることによって、地域のスポーツ環境も豊かになると考える。

地域部活動は複数での指導体制が必要で、継続して指導者を確保していく必要がある。また、指導に伴う謝金をどのようにして捻出していくのか、保護者の負担を軽減するにはどのように運営していけばいいのかなど、令和5年度からの地域部活動の運営に関わる費用については不安がある。令和5年度からも国からの援助があれば負担軽減につながると考える。